

夢をもち、未来を切り拓く生徒の育成



茂木の風

長崎市立茂木中学校
学校だより第15号
令和5年10月13日

「茂木だからできる・茂木で育てる・茂木から未来へ」

文責 校長 野田 希世美

平和を築く日本人としてどう行動するか～2年生総合学習～

平和教育研究協力実践校として2-1の授業が公開されました

長崎市では被爆都市の特性を生かしたテーマをもとにして、「討論や対話を通して、他者の意見を尊重しながら自分の言葉で平和を語り、行動できる生徒の育成」を目指し、新しい平和教育のスタイル「対話型授業」の推進を図っています。被爆体験を継承し、それをもとに「平和を築く日本人」として将来の日本や世界を変えていくことを願い、平和教育を進めています。茂木中学校は今年度「平和教育研究協力実践校」として、平和学習の授業を公開しました。市内の先生方や平和推進協会等からなる「平和教育再編成部会」の皆様など多数の参観者が来られました。

2年生の授業の討論テーマは「どうしたら戦争をとめられるか。」でした。A国とB国との戦争があり、それを第三者の国という立場にたち、それぞれの班が意見を戦わせました。話し合いでは、班長が意見を集約しながら、他の人にそれに対する意見を聞きながら討論が始まりました。この日だけでなく日頃から話し合いのスタイルが出来上がっている様子うかがえました。



話し合いのポイントは①「平和学習で自分が調べたことを根拠に戦争とはこういうものだと言え、この戦争をやめるべきかどうか、自分の考えを班の人に話す。」②「この戦争をとめるために今の私たちにできることは何だろう。」でした。そして、班で討論したものをまとめた意見をそれぞれの班長が発表しました。その意見とは・・・まず、どの班も共通した意見「戦争はやめるべきである」からスタートしていたようでした。そして、戦争をやめるためには・・・国のトップが話し合う。・A国とB国を統一させ、同じ国にする。・B国はA国に資源をあげる代わりに土地を使わせる（与える）・A国の貿易を止める などなどでした。生徒が空想でもどのような意見を出すか、とても大変興味深いものでした。時間があれば班同志で意見を戦わすこともできたでしょう。今後も茂木中学校では平和教育は続いています。

2年生 濱口さんが長崎あじさい英語スピーチコンテスト出場

毎年、長崎市では長崎市内全中学校から「長崎あじさい英語スピーチコンテスト」の出場者を募っています。各学校から多数の素晴らしいスピーチが応募され、その中で決勝を勝ち進み、本選の舞台に立つ生徒はわずかです。一つの学校から3人ほど応募している学校もありますので、応募者は相当であったと思いますが、そんな中、茂木中学校の2年生の濱口さんが予選を突破し、見事本選に出場します。本選に出場することはその時点で入賞が決定しています。素晴らしいです。タイトルは「The best town in Japan」です。茂木のすばらしさを思い存分、英語でスピーチをします。夏休みから一生懸命練習を重ねています。先日の1年生の上川さんも高円宮杯英語弁論大会に出場し、高い評価を受けました。今後も皆さん、いろんな大会にどんどんチャレンジしてくださいね。あじさい英語スピーチコンテストは10月21日(土)に長崎原爆資料館で行われます。がんばれ濱口さん!

来週はいよいよ合唱祭! ~練習をがんばっています~

いよいよ来週は10月17日(火)は合唱祭です。今日も昼休みは教室から歌声が響いています。自分たちで意見を言い合ったりしながら完成を目指して頑張っています。



いろんな面で頑張っている茂木中学校の生徒たちです。先日、茂木中学校は「税の作文コンテスト」に毎年多数の生徒が応募をしており、その取組においてのすばらしさを表彰されました。税について考え、しかも作文にできるなんてすごいですね。茂木中学校生徒はすばらしい!! 表彰の副賞として茂木中学校に景品が贈られるそうですので楽しみにしています。

だんだん秋めいてきました。かぜや感染症にお気をつけて週末をお過ごしください。

